

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
2	スーパー フロンティア	数学	数学B	全	必修	2

#### 講座のねらい

第1章と第2章では、「ベクトル」の基本概念を理解し、図形の性質や関係をベクトルで表現することを学び、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにします。第3章「数列」では、数列とその和および漸化式と数学的帰納法について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにします。

#### 使用教材及び問題集

教科書：改訂版「数学B」（数研出版）  
 問題集：改訂版「4STEP 数学Ⅱ+B」（数研出版）  
 参考書：改訂版「チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B」（数研出版）

#### 授業の内容と進め方

まず第1章の「平面上のベクトル」、続いて第2章の「空間のベクトル」、そして、第3章「数列」を学習します。教科書を中心に授業を進めます。授業中の演習と課題により、学習内容を定着させていきます。ノートは教科書用と問題集用の2種類を用意して下さい。ノートには、途中の計算過程や考え方、図などを必ず丁寧にかくように習慣づけてください。図形の問題では、必ず図をかいて考えるようにして下さい。問題集用ノートは適宜(主に毎定期考査後)に回収し点検します。第4章は扱いません。

#### 講座の到達目標

ベクトルと数列について学び、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する力を育てます。また、大学入試センター試験、国公立大学個別試験を念頭に、基礎事項の徹底から、応用力の養成、更には、より発展的な内容についても理解を深めていきます。

#### 評価の観点・テスト・課題など

定期考査を主にしますが、小テスト、課題テスト、課題の提出、授業中の姿勢や態度などを総合的に判断して評価します。普段の課題は、授業の進度に合わせて問題集(4STEP)の問題を、問題集用ノートに解いてくることです。

#### 備考

早朝、放課後に講習があります。長期休業中には講習があります。  
 放課後・長期休業中にフロンティアゼミナールがあります。

## 授業の計画

1 学期 学習計画および学習内容	
第1章 平面上のベクトル	
第1節 平面上のベクトルとその演算	
1. 平面上のベクトル	2. ベクトルの演算
3. ベクトルの成分	4. ベクトルの内積
第2節 ベクトルと平面図形	
5. 位置ベクトル	6. ベクトルと図形
7. ベクトル方程式	
2 学期 学習計画および学習内容	
第2章 空間のベクトル	
1. 空間の座標	2. 空間のベクトル
3. ベクトルの成分	4. ベクトルの内積
5. 位置ベクトル	6. ベクトルと図形
7. 座標空間における図形	
第3章 数列	
第1節 数列とその和	
1. 数列	2. 等差数列とその和
3. 等比数列とその和	
3 学期 学習計画および学習内容	
4. 和の記号 $\Sigma$	5. 階差数列
6. いろいろな数列の和	
第2節 数学的帰納法	
7. 漸化式と数列	8. 数学的帰納法